

【平成 26 年度・前期学期・ミクロ経済学 I・課題 2】

☆ 平成 26 年 6 月 10 日講義開始時締切

【問 1】次の設問に答えなさい（主語・述語のある、文章を書いてください。）

- (ア) 最も簡単な経済循環図を描き、その循環図が示す企業と家計の役割について 7 行程度で述べなさい。
- (イ) 生産における（根本）投入要素とはなにか述べ、それぞれに対して、投入要素市場では、どのようなものが対価として支払われるかを述べなさい。
- (ウ) 人的資本とは何か、答えなさい。（2～3 行程度）
- (エ) 企業家精神とはどのようなものか答えなさい。（2～3 行程度）

【問 2】ある経済が、食品（B で表す）と武器（G で表す）の 2 種類の財を生産することができるとする。このとき、この経済の生産可能曲線（P P F）が原点から外側に弓なりに張り出した形状をしていると仮定し、次の問いに答えなさい。

- (ア) P P F 上に生産点があるとき、このような点はどのような経済の状態を表しているか、言葉で説明しなさい。（3～5 行程度）。
- (イ) ある生産点に（ α とする）が P P F の外側にあるとする。P P F の図を描き α を書き入れなさい（縦軸・横軸が何を表すか書き入れること）。また、このような点は経済学上どのような意味があるか言葉で説明しなさい。
- (ウ) この経済の生産技術が向上し、武器の生産に偏向した技術革新が起こったとする。このときの新しい P P F を（イ）で描いた図と同じ座標平面上に、点線で描き入れなさい。

【問 3】次のようにある財の市場における、需要関数・供給関数が与えられている場合について、後の設問に答えなさい。

供給関数： $Q_s = -4 + 2P$

需要関数： $Q_d = 18.75 - 1.25P$

但し、 Q_s は供給量、 Q_d は需要量 P は市場価格を表す。

- (1) 需要法則・供給法則とはどのようなものか、言葉と文章で説明しなさい。
- (2) 上の、需要関数・供給関数を経済学の慣行に従ってグラフに描きなさい。その際、グラフの縦軸と横軸を正しく定めること。
- (3) この市場が均衡状態にあるとき、均衡価格と均衡数量を求めなさい。（グラフにも書き入れること。）
- (4) 今、市場で取引をする価格が均衡点よりも高く設定されたとき、この価格にかかる市場の価格プレッシャーについて説明しなさい。また低く設定された場合はどうか？
- (5) (4) の解答をもとに、均衡の意味を述べなさい。